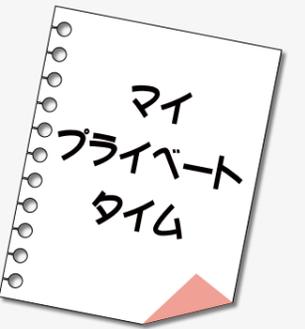


充電よりも 放電が多い日々

さかた 酒田市長(山形県) 阿部寿一
Jyuichi Abe



早朝に大活躍

どんなまちの市長もなかなかプライベートな時間がつくれず、充電よりも放電が多い日々をお過ごしだと思えますが、特に、酒田市のような人口規模の市、そして、合併直後の市では結構大変な思いをしているのではないのでしょうか。

例えば、休日に催される各種行事などに顔を出さないと、「市長はどうした」といわれる。合併前の旧町にも頻繁に顔を出さないと、「旧市だけが大切な」と寂しがられる。プライベートでどこかに出かけても、知り合いとのあいさつの連続。

市長になったばかりのときは、本当に消耗したのですが、今は少し慣れてきたことと、どうせプライベートな時間など多くつくれないはずと割り切ったことから、プライベートな時間の少なさを嘆くのではなく、大いにエンジョイするようになっています。

さて、ではどんな風な時間をつくっているかというところ、それは早朝の時間です。

趣味と健康法

私はどんなときでも毎朝5時には起きています。最初は午前の時間が長く感じられ、昼食後には睡魔が襲うこともたびたびでした。しかし、今は早起きも日中

います。

季節の楽しみと心の健康

もう一つだけ、日常生活で楽しみと紹介していることを紹介します。



各地域を巡る「移動市役所」で市民と意見交換

の時間も、全く苦にならなくなりました。要は、これも慣れの問題なのでしょう。

この早起きには大きな副次効果があります。当然のことながら早く眠らなければ早く起きられないわけですから、以前は誘われれば2次会、3次会と出掛けた酒席、今はほとんど1次会のみで帰宅しています。結果、財布にも優しいし、体にも優しいということとなります。ただし、お店の人には、「市長はどこのお店に行っているの、うちにはちつとも来てくれないけど」などといわれ、夜の街の評判はあまりよくないかもしれませぬ。

さて、その早朝をどのように過ごしているかというと、天気の良い日も悪い日もほぼ毎日、平日は1時間半、休日は2時間半ほど早起きテニスをやっています。初めのうちはテニスの仲間も、「えー、そんなに朝早くから」とか、「平日も含めて毎日なの?」とかいっていたのですが、私が早朝しか時間が取れないのですからやむを得ません。最初は無理を出てくれた人もいたと思いますが、今は仲間もさらに増え、幅広い年代の男女、さまざまな職種のメンバーで、朝からワイワイやっています。この



最上川と西回り航路の舟運で栄えた歴史のまち

酒田というまちは、鳥海山、最上川、庄内平野、日本海、離島飛鳥と変化に富んだ豊かな自然に恵まれ、四季の変化もとてもはつきりしています。

このまちに生まれ育った私の母は70歳を超え益々元気、そして、この母が趣味としているのが家庭菜園と庭いじり。四季折々の野菜などをつくり、家族や友達に食べてもらっては喜ぶ。小さな庭ですが、四季折々、花が咲いたり、芳しい香りを発する草木などがあり、まるで小さな雑木林のような風情。私は力仕事や消毒の担当。

母がつくる野菜を「美味しいねえ」「上手にできたね」といって家族みんなで食し、「今年のツツジは色がいいね」などと、朝食やお茶の時間に語り合う。ある意味、至福の時です。

私には、一つのバロメーターにしていることがあります。それは、食卓の野菜が買ったものか否かに気付かなかったとき、庭に何々の花が咲いたと気付かなかったときなどは、「精神的に疲れているのかなあ」と考えるということです。そして、季節の移ろいを楽しめないような精神状態ではいい仕事ができないはずと自戒をしながら改めて庭を眺めることとしていきます。本当にプライベート、そして大切な時間です。

座右の銘

プライベートな時間が確保できないことで一番つらいのは、子どもとの時間が取れないこと。「なぜうちの父ちゃんは何の日も…」といわれると本当につらい。「倅よ、いざれノブリス・オブ리지」(私の座右の銘)という言葉の意味を分る日が来るだろうと願いながら、市の発展のため、市民のためと懸命に努力を重ねる日々です。



毎年応援に駆け付ける「いか釣り船団出航式」